

目標達成計画

作成日: 令和2年9月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	今年7月、熊本や岐阜が甚大な被害を受けた災害(豪雨)等が対岸の火事ではなく、この地域でも発生するという危機感を持っていざという時の準備をしておく	災害時、管理者の判断で早め早めの避難指示を出し、職員一人ひとりが慌てることなく落ち着いて利用者様の避難誘導ができる	年に2回(7月、12月)の消防避難訓練と毎年10月の水害時避難訓練にて、繰り返し、繰り返しシュミレーションやイメージトレーニングを行なう	12ヶ月
2	41	食べる量や水分量の一日のトータルが不十分な方がどのフロアにもいらっしゃる	利用者様一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援を行ない、食事・水分の摂取量が毎日、確実に確保できるようになる	毎日、食事・水分の摂取量をチェックし、減少されている時は柔軟にメニューを希望される物に代えて提供し、好みの食べ物や水分で十分な量を摂取して頂く	12ヶ月
3	38	利用者様一人ひとりに対し、その日をどのように過ごしたいか、希望にそった支援ができているとは言い難い	職員側の都合を優先するのではなく利用者様第一に、一人ひとりのペースを大切にし、望まれる過ごし方が可能となるよう支援を行なう	職員は毎朝、利用者様一人ひとりに「どのように過ごしたいか」を伺い、相談し、他職員とも連携しながら希望実現のための支援を行なう	12ヶ月
4	37	利用者様一人ひとりが職員に対して、思いや希望を表出しているとは言えない	利用者様がいつも日常生活の中で思いや希望、自己決定を表せるようになる	職員は絶えず余裕をもって仕事に取り組み、利用者様に寄り添い、遠慮なく自然に希望を表出できたり自己決定ができるよう促す	12ヶ月
5	13	職員を育てる取り組みに対し、新型コロナウイルスの影響で法人外の研修がなく、勉強する機会が減少した	職員一人ひとりがサービスの質の向上のため、研修や勉強会にも積極的に参加する意欲を持つ	しばらくは施設内で密にならない感染予防対策を講じた勉強会・研修を毎月続け、外部研修の再開を待つ。外部の集合研修が不十分でリモートでの研修が続く状況であればオンラインの環境を整え、準備する	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。